

第2回 原子燃料分科会 議事録

1. 日 時 平成14年6月13日(木) 10:00～11:30

2. 場 所 日本電気協会4階B, C会議室

3. 出席者 (敬称略)

出席委員 : 古田副分科会長(原子力発電技術機構), 渡辺幹事(GNF-J), 安部田(三菱重工), 新井(東京電力), 猪原(電源開発), 梶山(核燃料サイクル機構), 河田(北海道電力), 木口(四国電力), 窪田(ジルコプロダクツ), 田村(中国電力), 常松(原子燃料工業), 中野(北陸電力), 中村(日本原子力研究所), 藤田(日本原子力発電), 本田(九州電力), 松本(三菱マテリアル), 松本(GNF-J)

代理委員 : 岡田(三菱原子燃料 池田委員代理), 中谷(東北電力 津幡委員代理), 平林(関西電力 小田委員代理), 吉田(中部電力 熊崎委員代理)

欠席委員 : 石野(東海大学), 渡辺(経済産業省原子力安全・保安院)

オブザーバ: 川崎(GNF-J)

事務局 : 浅井, 國則, 平田(日本電気協会)

4. 配付資料

資料 No.2-1 第1回原子燃料分科会議事録(案)

資料 No.2-2 第5回 原子力規格委員会 議事録(案)

資料 No.2-3 第7回 基本方針タスク 議事録(案)

資料 No.2-4 発電用原子燃料検査指針 JEAG4204 改定案

資料 No.2-5 JEAG4204 新旧比較表

資料 No.2-6 原子燃料分科会委員名簿(6月13日現在)

5. 議事

(1) はじめに

古田副分科会長が, 6月10日に急逝された大久保分科会長に対する, これまでのご功績に対する感謝と哀悼のご挨拶をされた。

(2) 会議定足数，議事次第，配布資料の確認

事務局より，委員総数の3分の2以上の出席で，会議開催条件を満たしているむねの報告があった。併せて，当日の議事次第（案）と配布資料を確認した。

(3) 新任・退任委員の紹介

事務局より，資料 No.2-6 に基づき，委員交代の紹介があり，初めて分科会に出席された，関西電力高橋委員代理の平林委員，東北電力中谷委員，三菱原子燃料岡田委員からご挨拶をいただいた。また，三菱マテリアルの松本委員から，名簿所属欄の役職が「桶川製作所品質保証室長」から「桶川製作所所長補佐」に変更になったとの確認があった。

(4) 前回議事録確認

資料 No.2-1 の第 1 回原子燃料分科会議事録(案)は，以下の修正を条件に承認された。

- 5.(1)第 2 段落の「―― 原子燃料検査指針指針改定案――。」中「指針」のダブリを削除すること。
- 項番号の取り方に，5.(4)項以降ダブリがあるので修正すること。

(4) 第 5 回原子力規格委員会，第 7 回基本方針策定タスクでの関連事項

事務局より，資料 No.2-2，No.2-3 に基づき，第 5 回原子力規格委員会，第 7 回基本方針策定タスクでの，発電用原子燃料品質管指針 JEAG4204 の改定案の審議内容など，原子燃料分科会に関連する事項について説明があった。

(5) 発電用原子燃料品質管指針 JEAG4204 の改定に関する審議

渡邊幹事より，資料 No.2-4 に基づき，JEAG4204 改定案の主要変更箇所，下記 4 点の説明と，全体の詳細な変更の説明があった。

- ・ 解説の中で規範性を持つ事項については本文に移動した。
- ・ 解説は当該の本文の下に来るよう構成を見直した。
- ・ 製造に関する項目を省略するのを止めた。
- ・ 付属書の部分の構成を見直した。

本改定案の説明に関して以下の議論があった。

(C : コメント， Q : 質問， A : 回答)

Q : 第二章 1 . の「品質保証の管理」の部分に，製造に関する記載が無いのは何故か？

A：「工程管理」が「製造管理」に相当する。付属書「品質保証について」 .9.「工程管理」欄も参照願いたい。

Q：製造のための機器や装置に関する管理は記載があるか？

A：付属書「品質保証について」 .9「.工程管理」欄に記載がある。

Q：付属書「品質保証について」は原子燃料に関する品質保証に関するものである。一方、指針そのものは品質保証の中の品質管理に関するものである。燃料に関する品質保証であり、この JEAG4204 の付属書として付けたものと思うが、例えば品質保証そのものの指針 JEAG4101 に記載すべきという意見は、原子力規格委員会などで無かったか？

A：原子力規格委員会で、例であれば例と明示すべきなど、構成についてはコメントが出て反映しているものであるが、付属書「品質保証について」をこの JEAG4204 に含めること自体には反対意見は出ていない。

C：比較表の（2）頁，改定理由，備考欄の第2段落部分は，JEAG4101-2000 に改定の予定があることを記載して，修文すべきである。

A：コメントを踏まえて修文する。

C：2.3.1 項にある「管理指標」と「工程管理パラメータ」の違いが分りにくい。

C：解釈の理解に誤解を生まないよう，なるべく具体的な説明にして欲しい。

A：解説を修正し違いを分りやすくする。

Q：2.3.3(1)の特殊工程管理とは，今の燃料製造の中に具体的に存在するのか？

A：溶接，熱処理，洗浄，表面処理などが特殊工程であり，そのままでは後工程で前工程の品質の良し悪しを確認できないため，例えば熱処理ならば温度記録や真空度を残す必要がある。例示を入れるなど，解説を修正し分りやすくする。

古田副分科会長より，以上の議論を踏まえて確認した修正部分を反映する条件で改定案を承認し，6月18日の第6回原子力規格委員会に上程することにはどうかと諮られ，挙手による決議の結果，出席委員全員の賛成で承認された。修正した改定案は分科会委員にメールで連絡することとした。

(5) その他

次回分科会は、第 6 回原子力規格委員会の結果を踏まえて、必要あればその後早急に、JEAG4204 改定案が問題なく承認され早急を開催する必要がなければ、その後の 1 ヶ月間の書類審査と 2 ヶ月間のパブリックコメントの様子を見て適当な時期に、開催する予定とした。次回分科会では新分科会長の選任も行なう予定。

以 上